

# G r o u p P r o f i l e

メルシャングループ会社案内

メルシャン株式会社



メルシャン株式会社  
代表取締役社長・CEO

鈴木 徹

## 自然の恵みを暮らしに活かし、 「感謝」を実践する企業活動を目指します。

当社グループは長年培ってきた発酵・醸造技術を活かして、お客様の「食と健康」に寄与し、メルシヤンの社名のもつ「感謝」(フランス語の「Merci(メルシー)= 感謝する+an(人)」)の通り、社会や自然の恵みに対する「感謝」、お客様をはじめとする全てのステークホルダーの方々への「感謝」を企業活動を通して実践することを目指しています。

当社はワインのリーディングカンパニーとして、お客様により近づき、お客様の声に真摯に耳を傾け、常にお客様基点の経営を実践していくよう、全社一丸となって取り組んでいます。

そして安全・安心で、お客様のライフスタイルや価値観に合った魅力的なワインをこれからもお届けして参ります。

また、当社グループはキリングroupの一員として、自然と調和・共生する社会づくりを目指した活動をはじめ、事業を通じたCSR活動に積極的に取り組み、持続可能な社会づくりに貢献できる、意義ある事業を展開していきます。

今後ともメルシヤンにご期待いただきますよう、そして皆様の変わらぬご支援を賜りますよう、何卒お願い申し上げます。

### メルシヤン経営理念

### Management Philosophy

私たちは社名(Merci + an)が示す通り、お客様への感謝の気持ちを常に大切にし、「自然の恵みを暮らしに活かす」企業活動を行います。



## おいしいワインと豊かな時間を、 もっと日本に。

メルシャンは、ワイン事業理念である「確かな味わい、ひとつ上の時間」を多くのお客様にお届けするために、魅力あふれる様々なワインをご提供しています。

国産ワインでは、日本を代表する「シャトー・メルシャン」、デイリーワインとして人気の「メルシャン ボン・ルージュ」、「メルシャン おいしい酸化防止剤無添加ワイン」、「メルシャン ビストロ」など、輸入ワインでは、チリコンチャ・イ・トロ社の「フロンテラ」、「サンライズ」をはじめ、カリフォルニアの「フランジア」など、価格と品質のバランスのとれたワインが充実しています。また銘酒と謳われる世界各国の中・高級価格帯ワインもお届けしています。

さらに、お客様へワインの“気軽さ”を訴求するために、栓に「スクリューキャップ」を採用した輸入ワインをいち早く導入。また、軽い、割れない、捨てやすいなど利便性が高く、容器製造時、配送時のCO<sub>2</sub>排出量を削減できる環境にも優しい「ワインのためのペットボトル」を開発するなど、日本のお客様にもっと気軽にワインを楽しんでいただけるよう様々な活動を続けています。

これからもメルシャンは、キリングroupとの連携によるgroup力を活かして「健全なワイン市場の拡大と深耕」「お客様支持No.1の獲得」の実現に向けて、お客様の嗜好や価値観、ライフスタイルの変化を先取りした多彩な商品を提供していきます。

### ワイン事業理念

#### 「確かな味わい、ひとつ上の時間。」

私たちは、日本におけるワイン造りの先駆者として長年培った技術を活かし、国産・輸入とも品質が高くておいしいワインを、最良の提案とともにお届けし、一人でも多くのお客様にワインのある豊かで潤いのある幸せな時間を楽しんでいただくことを喜びとします。

## 日本ワインの歴史の原点。 ワイナリー「シャトー・メルシャン」。

日本最初の民間ワイン会社である「大日本山梨葡萄酒株式会社」が設立されたのは、1877年(明治10年)。この年、二人の青年がブドウ栽培とワイン醸造を学ぶために本場フランスに派遣され、これが日本でのワイン造りの幕開けとなりました。メルシャンはこの会社を源流とし、今日のワインのリーディングカンパニーへと発展してきました。この流れを汲むのが、シャトー・メルシャンです。



二人のワイン造り伝修生  
高野正誠と土屋竜憲

## この国を語る、この国のワイン。 「シャトー・メルシャン」シリーズ。

シャトー・メルシャンは「良いワインとは、その土地の気候・風土・生産者によって育まれるブドウの個性を、素直に表現したものである」という信念のもと、「Growing Differences in the World」(違いを育む)と言うコンセプトを掲げ、日本のワインでしか表現できない個性を追求しています。そして、たどり着いたのが、「フィネス&エレガンス」(調和の取れた上品な味わい)というスタイルです。

シャトー・メルシャンを通して、「日本が、世界にも優れた個性を持ったワイン産地として認められること」そして、「日本ワインが、その生産国である日本が、その生産国である日本において、愛され、親しまれること」を目指し、日々、より良いワイン造りを目指して努力を続けています。

「シャトー・メルシャン」シリーズは、1970年に発売以来、世界的なワインコンクールで数々の輝かしい受賞歴を誇っています。また、日本固有のブドウ品種「甲州」に対する醸造技術の開発により、「シャトー・メルシャン 甲州きいろ香」をはじめとする甲州ワインの新しいスタイルを作り出してきました。



## “日本ワイン情報発信基地” ワイナリー「シャトー・メルシャン」リニューアル。

2010年9月、メルシャンの象徴とも言える「メルシャン勝沼ワイナリー」は名称を新たに「シャトー・メルシャン」としてリニューアルしました。ご来場いただいたお客様がワインをより専門的に“学ぶ・楽しむ”ことができる「日本ワイン情報発信基地」としての役割を果たすとともに、醸造、貯酒、製造設備をリニューアル・新設し、さらなるワインの品質向上を目指しています。



## お客様の多様なニーズに応える 国産デイリーワイン。

メルシャン藤沢工場では、伝統と歴史に培われた醸造技術、先進の設備、そして自然の恵みがひとつにとけあい、リーズナブルで安心して楽しめるワインを造り続けています。

そして、毎日の食事に合わせて気楽に楽しめるワインや、機能性に特化したワインなど、お客様の多様な嗜好やニーズにお応えしています。ポリフェノールを通常のワインの2倍(当社比)含んだ赤ワイン「メルシャン ボン・ルージュ」、酸化防止剤無添加で丁寧に醸造した、フレッシュな味わいの「メルシャン おいしい酸化防止剤無添加ワイン」、毎日の食卓を彩る手頃な価格のワイン「メルシャン ビストロ」などはお客様の高い支持を得ています。



ワインのためのペットボトル

また、カリフォルニアワイン「フランジア」や、ライオン社と共同開発したオーストラリアワイン「セント・ハレット タティアラ」などのワインを24kl(750ml換算で約32,000本分)の酸素透過性の低い専用バッグに入れてコンテナにて海上輸送し、メルシャン藤沢工場でのボトリングしています。これにより、安定した品質のワインをご提供できるとともに、環境面では日本仕様のエコボトルや包装資材が使用でき、かつ1本(750ml)あたりの海上輸送時のCO<sub>2</sub>排出量も約6割削減(当社調べ)できます。



メルシャン藤沢工場でのボトリング

## 世界の一流ワイナリーは、メルシャンを指名します。

メルシャンは、ワイン伝統国であるフランス、イタリア、ドイツ、スペインや、新世界と呼ばれるアメリカ、チリ、オーストラリアなどのワインまで、世界各国の中・高級価格帯のワインはもちろん、価格と品質のバランスが良いワインも日本に紹介しています。メルシャンの海外における提携先は、現在世界10数カ国、70数社に及んでいます。

これからも、おいしいワインを日本市場にお届けするとともに、ワインの世界をリードしていくことがメルシャンの使命だと考えます。

## 輸入販売の提携には、 固い信頼関係があります。

世界的な評価を得ているメルシャンだからこそできる、世界の一流ワイナリーとのパートナーシップ。「素晴らしいワインをつくる」という共通の目的によって、メルシャンは世界の銘醸ワイナリーと固い信頼関係で結ばれ、輸入販売の提携を行っています。

海外企業との最初の提携は、1972年、シェリー酒『ティオ・ペペ』のスペイン、ゴンザレス・ビラス社との輸入販売契約になります。その後も、チリNo.1(※1)のワイナリー、コンチャ・イ・トロ社をはじめ、カリフォルニアワインの父、ロバート・モンダヴィ社、単独ブランドとしての販売量世界No.1(※2)のカリフォルニアワイン「フランジア」のザ・ワイングループ社など、世界的に著名なワイナリーと提携してきました。近年好調に推移しているスパークリングワインでは、辛口(ブリュット)シャンパンの元祖、ポメリー社の他、スペインのコードーニュ社などを日本に紹介しています。

こうした世界各国のワインを導入することにより、日本のワイン消費の裾野を広げ、ワインをより身近なものにしてきました。



Concha y Toro  
コンチャ・イ・トロ社 チリ



Robert Mondavi  
ロバート・モンダヴィ社 アメリカ

(※1) 2010年度 1-12月 出荷量 チリワイナリー協会調べ

(※2) IMPACT DATABANK 2010 EDITIONより

## メルシャンが所有する、世界に3つのワイナリー。

メルシャンは、山梨県甲州市にシャトー・メルシャンを所有する他、1987年に米国カリフォルニア、ナパ・ヴァレーのマーカム・ヴィンヤーズ社を、翌88年にはフランス、ボルドー地方オー・メドックのシャトー・レイソン社を傘下に収め、設備の増強をはじめとして、品質の向上を目指したあらゆる努力を積み重ねてきました。

マーカム・ヴィンヤーズ社は、メルシャンの所有になってから、ブドウ畑の植え替えや各種醸造設備のリニューアルを行いました。この大規模な改革により、ワインの品質は飛躍的に向上し、同社のワインは、現在では、合衆国政府が主催する外交の席上でも供されるほど、カリフォルニアを代表する存在として高い評価を得ています。

シャトー・レイソン社についても、メルシャンの技術スタッフを派遣してワインの品質の向上に努めた結果、世界最大規模のワインコンクールとして名高いマコン・グラン・ヴァン・コンクールにおいて1998年に金賞を受賞。その成果は着実に実り、現在では、数あるクリュ・ブルジョワワインの中でも出色の存在として、注目を集めています。



Markham Vineyards  
マーカム・ヴィンヤーズ社 アメリカ



Château Reysson  
シャトー・レイソン社 フランス

## 名門ワイナリーとの共同開発。 世界との絆がさらに強くなりました。

キリングループのライオン社が所有するオーストラリア・南オーストラリア州の名門ワイナリー「セント・ハレット」。

メルシャンは、日本のお客様のためのオーストラリアワインを「セント・ハレット」と共同開発しました。現地にてワインの味わいを最終決定するブレンドの際、オーストラリアワインの個性ある味わいの中に、日本のお客様が求める味わいをより引き出すために、メルシャンの担当者が立会うなど、日本のお客様向けに造られた特別なワインです。



セント・ハレット タティアラ

選び抜かれた銘醸産地のトップブランドワインを世界から。



日本における世界の銘醸ワインインポーターの先駆者として、日本リカー株式会社は、1963年の設立以来約50年にわたり、日本のワイン愛飲家の皆様に世界の銘醸ワインをご紹介します。



世界中の高級ホテル、レストラン、ワインショップで高い評価をいただき、多くのお客様に愛されているブランドをお届けすることをモットーに、「ファインワインを世界から」という企業理念の下、品質にこだわり、「世界の銘醸産地のトップブランド」を輸入販売しています。



優れた造り手が生み出すワインを、最良の状態でお客様にお届けすることに、最善の企業努力を続けています。

私たちがパートナーと呼んでいるトップブランドの造り手たちとは品質に対して妥協しない強固な信頼関係で繋がっており、私たちは彼らの高い志を伝える真摯なブランド・アンバサダーでありたいと考えます。



奥深い魅力と豊かな味わいを持つファインワインを、造り手のマインドとともに広くお届けし、多くのお客様にファインワインのある豊かで潤いに満ちた時間をご提供します。

酒類原料用と工業用のアルコールを供給しています。



### 第一アルコール株式会社

第一アルコール株式会社は、2010年7月、ワインのリーディングカンパニーとしてお客様の食と健康に寄与し、喜びと感動の提供をモットーとしているメルシャンと、先進の発酵技術で人々の健康に貢献している協和発酵バイオ株式会社の共同出資により、アルコール販売事業を担う会社としてスタートを切りました。



メルシャン株式会社のアルコール事業は1935年、また協和発酵バイオ株式会社は1943年の事業開始以来、酒類製造の多岐にわたる技術的要望に対し、営業担当・工場・研究所・物流の連携によるきめ細かい対応を行い、お客様から高い評価と信頼をいただき、市場で確固たる基盤を築き上げてきました。

その歴史を引き継ぎ、アルコール事業(第一アルコール株式会社)では、主に「清酒」「焼酎」「リキュール」「みりん」などの酒類製造に必要な酒類原料用アルコール及び「食品工業」等に広く用いられる工業用アルコールを供給しています。

また、キリングroupの一員として、グループシナジーの最大化を図り、規模のメリットを活かし、外的環境変化への対応力を強化し、中長期的に安定した事業運営を行ってまいります。



#### 取り扱い商品

##### 酒類原料用アルコール

サトウキビなどから精製したエチルアルコールを、清酒、低アルコール飲料やリキュールなどを製造する酒類原料用アルコールとして販売、全国各地のアルコール蔵置場から酒類製造業者に向けて、納入しています。

##### 工業用アルコール

工業用アルコールは、2001年4月に専売制が廃止、販売・使用の規制が大幅に緩和され、2006年4月には輸入・製造・販売・使用が完全に自由化されました。

第一アルコールでは、主に食品・化粧品・医薬品の事業者様へ向け、アルコールを販売しています。

「人と動物にやさしい製品づくり」を合言葉に。



メルシャンフィード株式会社

新生メルシャンフィードは、  
お客様の声を大切にします。

飼料の販売会社として1993年に設立したメルシャンフィード株式会社は、2009年9月にメルシャンの畜産飼料事業部門を承継し、生まれ変わりました。



事業統合により原料調達から製造、販売、お客様への製品提供までの関係がより密接でスピーディになり、事業基盤の強化を実現させることができました。

お客様の声を真摯に受け止め、会社全体で共有し素早く対応する。お客様の視点に立った事業活動を展開しています。

日本の食生活を支える、  
未来を語る会社でありたい。

メルシャンフィード株式会社は、「私たちは人と動物にやさしい製品づくりを目指します」を事業理念に掲げ、人が口にする畜産物の飼料だからこそ、より安全で安心な製品づくりを心掛け、製品開発から原料調達—製造まで徹底した品質管理を行っています。



そして、食に携わるものとして「開発—製造—販売」が三位一体となって叡智を結集し、安全で安心な商品『やさしい商品』を提供することを第一に考え、「酪農家を通じて日本の食生活を支え、社会に貢献していく」ことを社員一人ひとりがしっかりと認識し、自分たちの会社・商品に誇りと自信を持ち、未来を託す子供たち、これから生まれ来る子供たちのために、安全でやさしい商品を提供し続けていきます。

## 研究開発と生産・SCM

R&D / SCM

### 研究開発

お客様へ豊かな時間と健やかな生活をお届けするための研究を行っています。



#### 商品開発研究所

神奈川県藤沢市にある「商品開発研究所」では、ブドウなどの果実のおいしさや健康機能などのポテンシャルを引き出して、お客様の食卓を楽しくするワインや健やかな生活に貢献する商品の研究・開発を行っています。

風土により品質が左右されるブドウですが、品種の特長的な香り、隠れた味わい成分を引き出す製造技術開発への取り組みが「シャトー・メルシャン 甲州きいろ香」、「シャトー・メルシャン 甲州グリ・ド・グリ」などの商品に活かされています。

また、レスベラトロールやGABAなどの成分を多く含むブドウを使ったワインや、酸化防止剤無添加でありながら味わいにこだわったワインなど、お客様の多様なご要望にお応えする商品の開発なども行っています。

今後もたくさんの方々々にワインに親しんでいただく商品をお届けするための素材や製造技術の研究・開発を目指していきます。

### 生産・SCM

品質第一主義を基本に、一貫した管理で安全・安心な商品を提供しています。



メルシャン藤沢工場

#### 生産部門

生産部門は品質第一主義を基本に、徹底した衛生管理により、お客様に安全・安心な商品をお届けしています。

酒類の生産拠点には、小ロット・多頻度生産やフレッシュローテーションの維持という市場のニーズに対応した多品目商品が製造可能なメルシャン藤沢工場、2010年9月にリニューアルオープンしたファインワインを生産する勝沼の「シャトー・メルシャン」があります。

これらの工場では、高付加価値商品の生産や、省エネルギー化、CO<sub>2</sub>の排出量の削減など、環境に配慮した生産体制の構築に積極的に取り組んでいます。

なお、梅酒、ウイスキー、焼酎については、2007年7月より麒麟ビール社に販売を移管し、キリングroupの一員として麒麟ビール社からの受託生産を行っています。

#### SCM部門

商品の販売動向を踏まえて、サプライチェーン・マネージメント・システムにより、きめ細かな在庫管理を目指しています。

配送に関しては、物流協力会社と情報連携した貨物追跡システムを、他社に先駆けて構築しています。

また、ワインなどデリケートな商品が多いことから、保管や配送まで温度管理された体制の構築を進め、品質の向上に努めています。



メルシャン藤沢工場

## 感謝の気持ちを常に大切にし、社会に貢献していきます。

### 品質と食の安全、そして環境への取り組み

私たちは、求められる品質の追求を第一に考え、価値ある商品とサービスを通して、お客様の豊かな食文化と健康に貢献します。お客様へ安全・安心な商品を提供するために、全社でISO9001を取得し、品質方針に基づき、使用する原料は、由来、履歴が明らかで安全が確認できたものだけを選び、商品開発から販売までの一貫した品質保証体制をとっています。

また、私たちの暮らしを支える自然の恵みに感謝し、その環境の保全と豊かな社会の両立を図ります。

そのためにメルシャンでは、環境理念、環境方針に基づき、環境に関しての中期目標を設定しています。

### ワインをもっと楽しんでいただくために

1人でも多くのお客様に“ワインのある豊かで潤いに満ちた生活”を楽しんでいただけるよう、様々な取り組みを続けています。

#### ①コミュニケーション

飲みたいワインに出会えるサイト「WINESUKI ワインすき!」を開設しました。



#### ②商品開発

1人でも多くのお客様にワインを楽しんでいただくために、利便性を高めたスクリーキャップの採用をはじめ、ワインの特長がわかる「味わいチャート」の表示、バッグインボックスの改良、ワインのためのペットボトルの採用など、お客様からいただく貴重なご意見を商品開発に活かしています。



#### ③ワインと食の相性の研究

素材を活かした魚介料理とワインの組み合わせにおいて、まれに不快な生臭い「におい」が発生することがあり、2008年に「どうしたらこの生臭みが発生しないか」という研究を行い、「日本味と旬学会第42大会」にて発表しました。

#### ④適正飲酒

正しいお酒とのつきあい方を、ホームページなどを通じてお客様にお伝えしています。

### お取引先様との取り組み

コンプライアンス・ホットラインを設置し、お取引先様に対しての適正取引に取り組んでいます。

### 働き甲斐のある職場づくり

成長意欲を持つ多様な従業員がいきいきと働くための職場づくりを進めています。

例えば、ナレッジの共有、仕事に対する思いの相互理解を目指して「メルシャン大賞」という業績重視とは異なる視点での社内表彰制度を2009年に導入しました。

### シャトー・メルシャンのCSR活動

産地、栽培農家の皆様、地域の皆様とのつながりを大切にしながら、お客様にご満足いただけるワインづくりを実践しています。

#### ①ワイナリー「シャトー・メルシャン」リニューアル

名称を「シャトー・メルシャン」に変更し、お客様に日本ワインを学び・楽しんでいただくための場として2010年9月にリニューアルしました。

#### ②より品質の高いブドウ栽培を目指して

2003年にブドウの栽培に適した気候風土の長野県上田市に梔子(マリコ)ヴィンヤードを開園しました。

#### ③ブドウ栽培農家との取り組み

ブドウ栽培農家と直接契約することで、原料のブドウを継続的に購入し、地域農業の保全維持を長期的に行うことと品質の向上を目指すとともに、栽培地域との接点の強化を図り、より地元へ愛され、誇りを持ってもらえるブランドとして育成していくことを目標としています。



#### ④技術の公開

ワイン醸造の技術を他のワイナリーに公開することで、日本ワイン全体の品質の向上を目指しています。

### 地域との交流・環境活動

メルシャンフィード社をはじめ、メルシャン藤沢工場や、メルシャン八代工場では、地域の皆様への感謝を表すべく、交流会やイベント、環境活動などに取り組んでいます。





<b>社名</b>	<b>メルシヤン株式会社</b> MERCIAN CORPORATION
<b>創立</b>	1934年(昭和9年)12月4日
<b>資本金</b>	209億7,293万円
<b>代表者</b>	代表取締役社長・CEO 鈴木 徹
<b>本社</b>	〒104-8305 東京都中央区京橋1-5-8
<b>事業内容</b>	ワインを中心とした酒類の製造・販売及び飼料事業などを展開

## 事業所一覧

<b>【営業所】</b>	北日本支社	〒980-0822	宮城県仙台市青葉区立町27-21 仙台橋本ビル5階
	関信越支社	〒330-0802	埼玉県さいたま市大宮区宮町2-81 大宮アネックスビル2階
	首都圏統括支社	〒103-0016	東京都中央区日本橋小網町2-5 キリン日本橋ビル3階
	中部圏統括支社	〒450-0002	愛知県名古屋市中村区名駅3-28-12 大名古屋ビル10階
	近畿圏統括支社	〒550-0002	大阪府大阪市西区江戸堀2-1-1 江戸堀センタービル8階
	中四国支社	〒735-8510	広島県安芸郡府中町大須2-1-1
	九州支社	〒810-8532	福岡県福岡市中央区天神2-14-8
	広域流通統括支社	〒103-0016	東京都中央区日本橋小網町2-5 キリン日本橋ビル3階
<b>【工場】</b>	メルシヤン藤沢工場	〒251-0057	神奈川県藤沢市城南4-9-1
	シャトー・メルシヤン	〒409-1313	山梨県甲州市勝沼町下岩崎1425-1
	軽井沢蒸留所	〒389-0207	長野県北佐久郡御代田町大字馬瀬口1795-2
	メルシヤン八代工場	〒866-0017	熊本県八代市三楽町3-1
<b>【研究所】</b>	商品開発研究所	〒251-0057	神奈川県藤沢市城南4-9-1

**親会社** キリンホールディングス(株) (100%)

**連結子会社**

- 第一アルコール(株)
- メルシヤンフィード(株)
- メルコム(株)
- 日本リカー(株)
- マーカム・ヴァンヤーズ
- シャトー・レイソン

**非連結子会社**

- (株)京橋ワインリカーショップ
- (株)エヴァワイン
- (株)メルシヤンサロン
- (有)ラ・ヴィーニュ

**関連会社** 紹興古越龍山酒業有限公司

**持分法適用関連会社** 日本合成アルコール(株)

## 1930's - 1960's



1949年(昭和24年)  
当時の八代工場全景

- 1934年12月4日 昭和酒造(株)創立、本社東京
- 1935年4月 川崎工場竣工、アルコール製造開始
- 1946年3月 八代工場で焼酎の製造開始、焼酎「三楽」発売
- 1961年5月 日清醸造(株)を取得、「メルシャン」ブランドを当社の傘下に
- 1962年7月 オーシャン(株)を取得、「オーシャン」ブランドを当社の傘下に、三楽オーシャン(株)と社名変更

## 1970's - 1980's



発売当時の  
メルシャンワイン

- 1970年3月 「シャトー・メルシャン」発売
- 1973年9月 山梨県勝沼の木造で現存する日本最古の醸造場を改装、メルシャン「ワイン資料館」開設
- 1978年2月 スペイン、コドーニュ社とスパークリングワイン「コドーニュ」の輸入販売契約締結
- 1985年4月 三楽(株)と社名変更
- 1987年10月 アメリカのワイナリー、マーカム・ヴァインヤーズ社取得
- 1988年9月 フランス、ボルドー地方のワイナリー、シャトー・レイソン取得
- 1989年6月 「シャトー・メルシャン 信州桔梗ヶ原メルロー」発売

## 1990's



メルシャン軽井沢美術館

- 1990年9月 メルシャン(株)と社名変更
- 1993年2月 チリ、コンチャ・イ・トロ社のワインの輸入販売開始
- 1994年6月 国産初のフルボトル500円ワイン「メルシャン ボン マルシェ」発売
- 1995年7月 メルシャン軽井沢美術館設立
- 1995年10月 「メルシャン ビストロ」発売
- 1996年10月 「メルシャン ボン・ルーージュ」発売
- 1997年12月 全工場でISO9002の認証取得
- 1998年9月 アメリカ、ロバート・モンダヴィ社ワインの輸入販売開始

## 2000's



梔子(マリコ)ヴィンヤード

- 2003年3月 「メルシャン おいしい酸化防止剤無添加ワイン」発売
- 2003年6月 ワイン用ぶどう自社栽培事業を植栽地のマリコ・ヴィンヤードにて開始
- 2005年3月 「シャトー・メルシャン 甲州きいろ香」発売
- 2006年3月 日本リカー(株)の株式51%取得
- 2006年11月 キリンビール社と酒類事業における業務提携契約を締結
- 2007年7月 キリンホールディングス社の事業会社となる
- 2008年3月 カリフォルニアワイン「フランジア」メルシャン藤沢工場でのボトリング開始
- 2009年9月 全社でISO9001の認証取得

## 2010's

- 2010年12月 キリンホールディングス社による完全子会社化
- 2011年3月 ライオン社との共同開発「セント・ハレット タティアラ」発売